取扱説明書

自動食器洗い機
G 1102 SC

特定保守製品

ja-JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

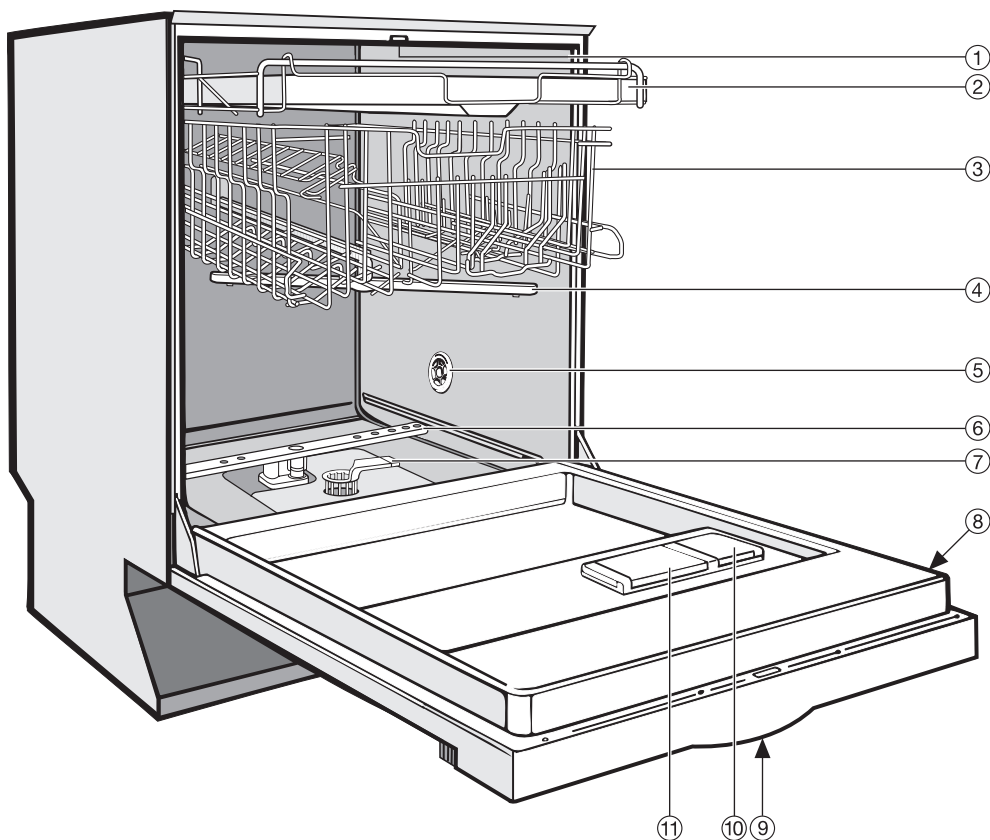
M.-No. 07 502 980

目次

目次

各部の名称

本機全体図

※図は幅60cmの機種です。

① 上段スプレーアーム

② カトラリートレイ

③ 上段バスケット

④ 中段スプレーアーム

⑤ 乾燥時の給排気口

⑥ 下段スプレーアーム

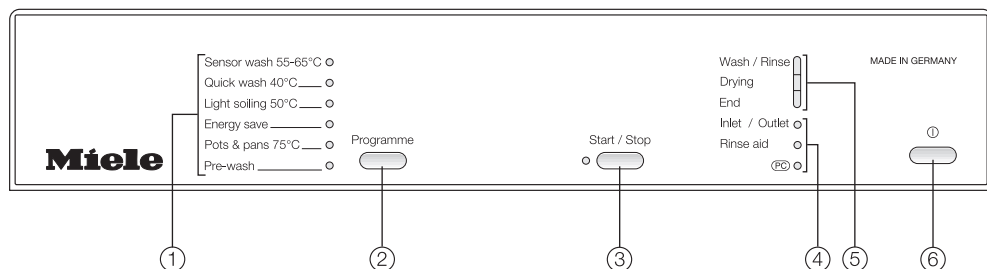
⑦ トリプルフィルター

⑧ 型式表示シール

⑨ ドア取っ手のチャイルドロック

⑩ 乾燥仕上げ剤投入口

⑪ 洗剤投入口

操作パネル

① プログラム表示

② プログラムセレクタースイッチ

③ Start/Stopスイッチ

④ トラブルチェックランプ

⑤ プログラム進行表示ランプ

⑥ ⓘボタン（ON/OFFボタン）

安全上のご注意

表　示	表　示　の　意　味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の損傷とは、治療に入院・長期の通院を要しないが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 強制／指示

 潜在的な危険・警告・注意

 感電注意

 機器に損害を与える可能性のある場合

 発火注意

 高温注意

 分解禁止

 電源接続に関する注意

 水場、湿気の多い場所での使用禁止

禁止行為

 必ずアース線を接続

 破裂注意

 接触禁止

安全上のご注意
本食器洗い機は、現行の安全基準に適合しています。
しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害のおそれがあります。
本食器洗い機を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
それによって、お客様の安全を守り本機の損傷も防ぐことができます。
本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

設置

 安定性を確保するため、ビルトイン式の食器洗い機は、十分な固定がなされているカウンターの下に限り、設置することができます。

警　告

設置

食器洗い機の設置および接続は、設置施工手順書に従って行ってください。

食器洗い機が正常に機能するには、水平に設置する必要があります。

安定性を確保するため、ビルトイン式の食器洗い機は、十分な固定がなされているカウンターの下に限り、設置することができます。

食器洗い機の正しい使用

本食器洗い機は、一般家庭用として、ご家庭の食器を洗浄する用途にのみご使用ください。
他の目的での使用や、本製品の改造や変更は許可されておらず、危険なことがあります。
規定に反した使用や間違った操作が原因で引き起こされた損害に対しては、製造者責任を負いかねます。

身体的・感覚的・精神的能力が十分ではない、使用経験がない、あるいは取扱方法の知識がないなどの理由で、本機を安全に操作できない人が、保護責任者の監督または指示なく使用することはできません。

機器の安全

本食器洗い機を設置する前に、目で見て分かる外部の損傷がないかどうか点検します。損傷している製品は絶対に使用しないでください。損傷している製品を使用すると、危険な場合があります。

本食器洗い機は、アースコンタクト付き3ピンプラグを使って電源に接続してください（取外しできない固定接続は不可）。電気コンセントは、設置した後でも簡単に手が届くところにあり、いつでも電源から切り離せるようにしてください。

食器洗い機の後ろに、電気機器のプラグが隠れないようにしてください。すき間が狭くなりすぎて、プラグが圧迫されることにより、過熱する恐れがあります（火災の危険）。

全ての据付けおよび取付け作業が終了してから、食器洗い機を電源に接続します。

ご家庭にある電源の電圧、周波数およびブレーカーの表示が型式表示シールの表示と一致していることを確認してください。

本食器洗い機を電源に接続する際、蛸足配線や延長コードを使用しないでください。過熱の恐れがあるため、メーカー保証の対象外となります。

安全上のご注意

警　告

食器洗い機は、アース接続が規定どおりに行われている場合にのみ、電気的安全性が保証されます。この安全設備は基本的なものであり、必ず設置しなければなりません。疑問がある場合には、電気工事の有資格者に点検を依頼してください。
不適切なアース接続や導線の破損によって生じた事故（感電など）については、製造者責任を負いかねます。

船舶などの移動するものに本製品を設置する場合、取付けおよび組立て作業を実施できるのは、専門業者または専門の技術者に限られています。ただし、本製品を安全に使用するための必要条件が、確認されていなければなりません。

給水用プラスチック製ケースには、電磁弁が含まれていますので、水につけないでください。

給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられているため、切って短くすることはできません。

安全上の理由から、延長コードの使用は避けてください（過熱による火災の危険があります）。

損傷した食器洗い機を使用すると、危険な場合があります。
食器洗い機が損傷した場合は、すぐに電源を切り、購入店もしくはコールセンターに修理を依頼してください。

修理は、ミーレ認定の専門技術者だけが行うことができます。
不適切な修理が、お客様に多大な危険をもたらすことがあります。

食器洗い機のメンテナンスを行う場合は、食器洗い機を電源から切り離してから行います（食器洗い機のスイッチを切り、電源プラグを引き抜きます）。

接続コードが損傷したら、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。安全上の理由から、接続コードの交換作業は、ミーレ認定の指定サービスマンに限り許可されています。

正しい使い方

庫内に溶剤を入れないでください。
爆発の危険があります。

工業用または産業用クリーナーは、素材を傷める可能性があり、危険な化学反応（爆鳴気反応など）が生じるため、決して使用しないようでください。

部品の交換が行われる場合は、必ずミーレの純正部品を使用してください。純正部品以外の部品が使用された場合は、メーカー保証の対象外になります。

警　告

お子様の安全

食器洗い機のそばにいるお子様から目を離さないように注意してください。
お子様を絶対に食器洗い機で遊ばせないようにしてください。お子様が食器洗い機の中に閉じ込められてしまう危険があります。

機器の操作について説明を受けて、安全に取り扱うことができるお子様に限り、監督者不在時でも使用することができます。お子様には誤操作によって生じる危険を知らせておくことが必要です。

食器洗い機を廃棄する場合

使用済みの食器洗い機を使用できない状態にしてください。電源プラグを引き抜いて、プラグをコードから切り離すか、接続コードを切断します。
お子様が閉じ込められてしまわないように、ドアのロックが機能しないよう、ドアロックのフックを取り除くか、または壊してください。

安全上の注意および警告を無視したために生じた損害に対しては、製造者責任を負いかねます。

注　意

機器の安全

食器洗い機を、調理レンジの下に取り付けないでください。レンジが発する高い放射熱により、食器洗い機が損傷を受ける可能性があります。
同様の理由から、「通常、調理場にはないような」熱を発する装置（火を使う暖房設備など）の横に食器洗い機を設置しないでください。

次の条件が満たされている場合、食器洗い機の防水システムが水による被害を確実に防ぎます。

– 規定に従って設置されている。
– 損傷が分かったときに、食器洗い機の修理または部品の交換が行われている。
– 長い間使用しない場合（旅行の間など）、止水栓が閉められている。

防水システムは、食器洗い機のスイッチが切られていても機能します。ただし、本機が電源に接続されている必要があります。

安全上のご注意

注　意

正しい使い方

粉末洗剤を吸い込まないよう注意してください。洗剤が原因で、鼻や口、喉に炎症が起きる可能性があります。
洗剤を吸い込んだり、飲み込んだりした場合には、すぐに医師に相談してください。

食器洗い機のドアを不用意に開けたままにしないよう注意してください。開いたドアにぶつかる場合があります。

開いたドアの上に寄りかかったり、座ったりしないでください。食器洗い機が傾いて、けがをしたり、機器が損傷する可能性があります。

市販の家庭用食器洗い機専用洗剤および乾燥仕上げ剤のみを使用してください。
台所用中性洗剤は使用しないでください。

洗剤（液体洗剤も）を乾燥仕上げ剤投入口に入れないよう、ご注意ください。
タンクが洗剤で破損してしまいます。

使い捨ての容器や小物類など、熱湯に弱いプラスチック製品を食器洗い機で洗わないでください。熱で変形することがあります。

お子様の安全

お子様が洗剤に触れないよう注意してください。
洗剤が原因で、口や喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなったりすることがあります。食器洗い機のドアが開いているときにも、お子様を近づけないよう注意してください。庫内にまだ洗剤が残っている可能性があります。
お子様が洗剤を飲み込んだ場合には、すぐに医師に相談してください。

アクセサリー

本食器洗い機に使用するアクセサリー品は、必ずミーレの純正アクセサリーを使用してください。他社製アクセサリー品が使用された場合の損傷等については、ミーレのメーカー保証対象外となります。

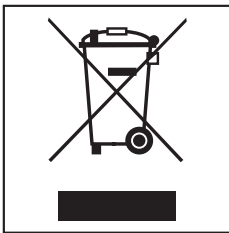
安全上の注意および警告を無視したために生じた損害に対しては、製造者責任を負いかねます。

梱包剤の処分

梱包材の材質は、環境および処理技術の視点を考慮して選ばれており、リサイクルすることができます。
梱包材をリサイクルすることによって、資源を節約し、ゴミを減らすことができます。

梱包剤には下記の素材が使用されています。
- リサイクル素材 100 % 使用の段ボール
- ポリエステル（PE）梱包剤
- ポリプロピレン（PP）製の紐
- 塩素・フッ素を含まないポリスチレン
- 再生可能な森から採取した木材

使用済み機器の処分

電気および電子機器には、有害な物質を含む材料が使用されている場合があります。これらの材料は、家庭ゴミと一緒に廃棄したり、誤った処理をしたりすると、健康や環境に害を及ぼす恐れがあります。そのため、使用済み機器を家庭ゴミと一緒に廃棄しないよう十分ご注意ください。

廃棄する場合には、使用済みの電気および電子機器を引き取り、再利用するために各地域に設けられたリサイクル・センターをご利用ください。

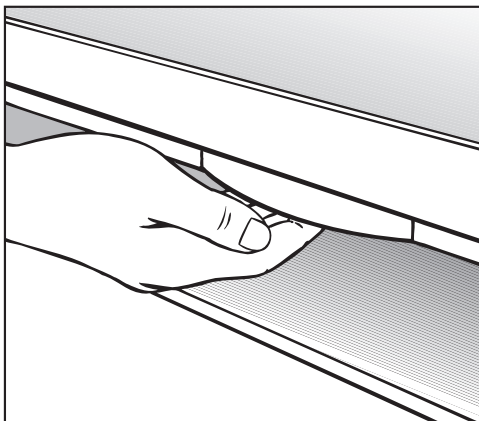
また、使用済み機器を家から運び出すまでは、お子様に危険が及ばないよう安全に保管してください。この件に関しては、本取扱説明書の「安全上のご注意」の章をご覧ください。

エネルギーを節約できる洗い方

本食器洗い機は、節水および節電効果の高い製品です。
以下に挙げたポイントに注意してご使用いただくと、製品の経済性を最大限に活かすことができます。

- この食器洗い機は、給湯に接続することができます。とりわけ、循環ラインを備えたソーラーエネルギーなど、省エネルギータイプの温水装置との接続に適しています。
- バスケットを十分に活用して、つめ込み過ぎは避けます。
- 洗う食器の種類と汚れの程度に応じて、最適なプログラムを選びます。
- エネルギーを節約して洗うには、「Energy save（エネルギーセーブ）」プログラムを選択します。
- 洗剤メーカーの投入量表示を守ります。

初めてご使用になる前に

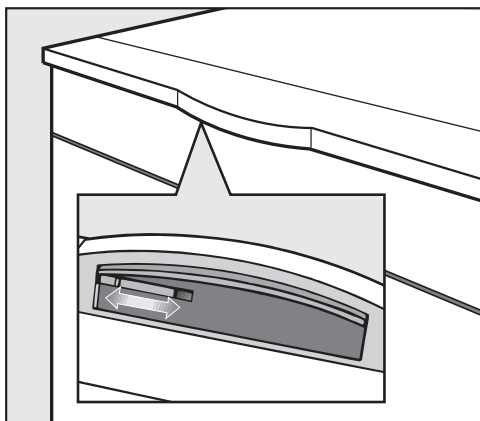
ドアの開け方

■ 取っ手をつかみ、ドアロックを上に押してドアを開けます。

運転中にドアを開けると、洗浄機能は自動的に中断します。

ドアの閉め方

■ バスケットを押し込みます。

■ カチッとかみ合う音がするまで、ドアを押します。

チャイルドロック

お子様が食器洗い機を開けないように、チャイルドロックを使ってドアをロックします。

■ ドアをロックするには、取っ手下のスライドを右にずらします。

■ ロックを解除するには、スライドを左にずらします。

乾燥仕上げ剤

乾燥仕上げ剤を使用すると、食器の水切れが良くなり、洗浄した後、食器に水滴の跡を残さずに早く乾燥させることができます。
乾燥仕上げ剤を専用のタンクに充填しておくと、設定された量の乾燥仕上げ剤が自動的に投入されます。

タンクには家庭用食器洗い機用の乾燥仕上げ剤のみを入れてください。台所用中性洗剤やクリーナーを入れると、タンクが破損してしまいますので、絶対に入れないでください。

乾燥仕上げ剤の入れ方

■ 乾燥仕上げ剤投入口の蓋についているボタンを矢印の方向へ押すと、フタが開きます。

■ 乾燥仕上げ剤が注入口から見えるようになるまで、乾燥仕上げ剤を入れてください。

乾燥仕上げ剤のタンク容量は、約110㎖です。

■ カチッと音がしてかみ合うように、フタを閉めます。そうしないと、洗浄中に水が乾燥仕上げ剤投入口の中に浸入してくる可能性があります。

■ 乾燥仕上げ剤がこぼれ出てしまった場合、そのままプログラムを実行すると、泡が強く立ちすぎてしまうため、よく拭きとっておくようにしてください。

乾燥仕上げ剤の補充表示

「Rinse aid」の表示ランプが点灯すると、乾燥仕上げ剤は、あと2～3回分しかタンク内に残っていません。

■ 早めに、乾燥仕上げ剤を補充してください。

乾燥仕上げ剤の投入量設定

最良の洗い上がりにするために、乾燥仕上げ剤の投入量を調整することができます。

乾燥仕上げ剤の投入量は0～6㎖の間で設定することができます。工場出荷時は、乾燥仕上げ剤の投入量は約2㎖に設定されています。
この投入量が、推奨される量です。

食器に水滴の跡が残る場合は、

■ 投入量を増やします。

食器が曇ったり、縞模様が出たりする場合には、

■ 投入量を減らします。

■ ① ボタンを押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ Start/Stop（スタート/ストップ）ボタンを押しながら、**同時に** ① ボタンを押して食器洗い機のスイッチを入れます。
この時、「Start/Stop（スタート/ストップ）」の表示ランプが点灯するまで、Programme（プログラム）ボタンを少なくとも4秒間押し続けてください。

うまく行かない場合は、最初からもう一度やり直します。

■ Programme（プログラム）ボタンを3回短く押します。

一番下のプログラム表示ランプが短く3回点滅します。

プログラム進行表示ランプ「Wash / Rinse（洗浄／すすぎ）」が3回短く点滅します。

乾燥仕上げ剤の投入量が2㎖に設定されています（工場出荷時設定）。

設定された数値は、プログラム進行表示ランプ「Wash / Rinse（洗浄／すすぎ）」の点滅リズムで判断することができます（表をご参照ください）。

乾燥仕上げ剤の量（㎖）	点滅リズム「Wash / Rinse（洗浄／すすぎ）」
0	
1	1回
2	**2回**
3	3回
4	4回
5	5回
6	6回

■ Start/Stop（スタート/ストップ）ボタンで、必要な投入量に対応した数値を選びます。
ボタンを1回押すごとに設定が1段階変わります。

プログラムされた乾燥仕上げ剤剤の投入量は、ただちに保存されます。

■ ① ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。

ご注意いただくこと

食器の残菜をざっと落としてください。

前もって流水で汚れを洗い落とす必要はありません。

食器洗い機で、灰、砂、ワックス、グリース、またはペンキで汚れたものを洗わないでください。灰は溶けずに、庫内に撒き散らされます。砂はこすり傷がつき、ワックス、グリース、ペンキは、食器洗い機に損傷を与えます。

食器は、食器洗い機のバスケットのどこにでも入れることができますが、下記の注意事項をお守りください。

– 食器類や小物類をくっつけて置いたり、隠れてしまったりするような置き方をしないでください。

– すべての面に水があたるように食器を配置してください。そうしないと、きれいに汚れが落ちません。

– すべての食器が安定して置かれているか、注意してください。

– カップ、グラス、鍋など、窪みのある容器は、窪みを下にしてバスケットに置きます。

– 底の深い食器は、できるだけ斜めに置いて、水が流れるようにしてください。

– 位置が高すぎたり、バスケットから突き出たりしている食器が、スプレーアームの動きを妨げないよう注意してください。
場合によっては、スプレーアームを手で回して、回転するかどうか確認します。

– バスケットから小物が落ちないように気をつけてください。
そのため、蓋など小さなものは、カトラリートレイに入れてください。

人参、トマトまたはケチャップなどの食品には、天然色素が含まれていることがあります。 食器と一緒にこれらの色素が多量に食器洗い機の中に入ると、プラスチック製の食器やプラスチック部品が変色する場合があります。この変色によって機能が影響を受けることはありません。

食器の入れ方

洗ってはいけない食器類

– **木製または部分的に木が使用されている小物類や食器。**変色する事があります。
さらに、接着剤がはがれて木製の柄が外れてしまう場合があります。

– **アンティーク製品、高価な花瓶や装飾付きガラス製品。**これらの製品は食器洗い機で洗えません。

– **耐熱性のないプラスチック製品。**変形することがあります。

– **銅、真鍮、錫、アルミニウム製品。**変色したり、つやがなくなったりすることがあります。

– **上絵付けを施した陶器。**何度も洗っているうちに色あせしてきます。

– **デリケートなガラス製品およびクリスタル製品。**白濁する可能性があります。

次のことをお勧めします。

– 食器洗い機に適応した食器および「食器洗い機対応」という表示のあるナイフやフォーク類をご購入ください。

– デリケートなガラス製品を洗う場合には、低温の洗浄プログラムで洗ってください。曇りのでるリスクが少なくなります。

– とくに高価なガラス製品は、手で洗うようにしてください。

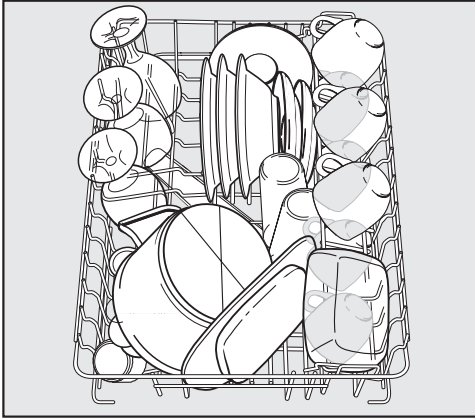
次の点にご注意ください。

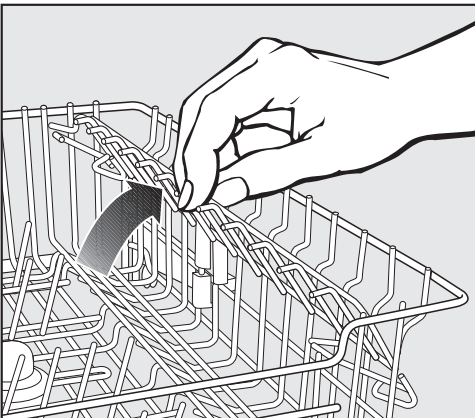
銀製品用の磨き剤で磨かれた銀製品は、洗浄が終了した後も水気や水滴の跡が残ることがあります。これは、水切れが悪くなるためです。その場合は、布巾で水気を拭き取る必要があります。

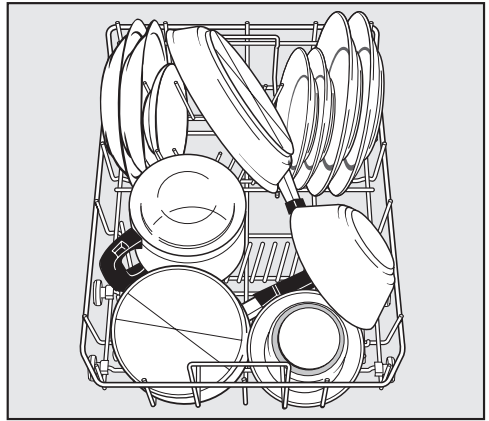
銀製品は硫黄を含む食品と接触すると、変色することがあります。こうした食品に該当するのは、卵黄、タマネギ、マヨネーズ、マスタード、豆類、魚、塩水漬けの魚、マリネなどです。

アルミニウム製品（グリスフィルターなど）に、工業用または産業用の苛性アルカリを含む洗剤は使用できません。材質を傷め、極端な場合は、爆発のような化学反応（爆鳴気反応など）を起こす危険があります。

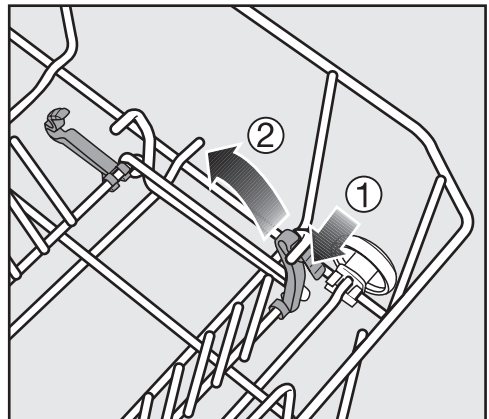
上段バスケット

> ⚠ 安全上の理由から、上段および下段バスケットを挿入した状態でのみ洗浄を行ってください。

■ 上段バスケットには、ソーサー、カップ、グラス類、小皿などの小さくて軽い、デリケートな食器を並べます。キャセロール皿も上段バスケットに置くことができます。

カップ用ラック

■ カップ用ラックを上方に上げると、高さのある食器を並べることができます。

下段バスケット

■ 皿、大皿、鍋、ボールなどの大きく、重いものを下段バスケットに並べます。
ソーサーなどの小さい食器も下段バスケットに入れることができます。

可倒式ピン

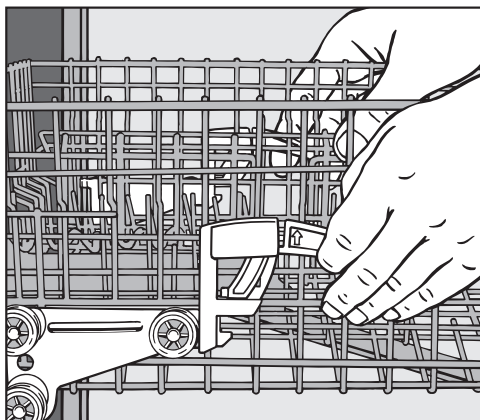
前方に2列に並んでいるピンを倒して、鍋やフライパン、深皿など大きな食器のスペースを作ることができます。

■ 黄色のレバーを押し下げ①、ピンを倒します②。

食器の入れ方

上段バスケットの調節

上段または下段バスケットに背の高い食器を入れるスペースを作るために、上段バスケットの高さを約2 cmの間隔で3段階に調整することができます。

また、上段バスケットの片側を高く、もう片側を低くセットすることもできます。しかし、この場合は、バスケットが庫内にスムーズに入るかどうか注意する必要があります。

■ 上段バスケットを引き出します。

■ 上段バスケットの両側にあるレバーを引き上げます。

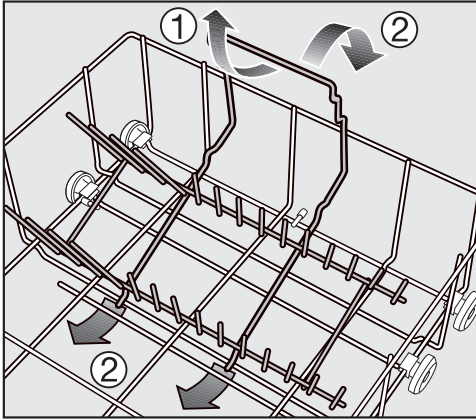
■ レバーを必要な位置にセットします。

■ レバーをもう一度しっかりとかみ合わせます。

上段バスケットの設定位置に応じて、以下の直径をもつ皿などをバスケットに並べることができます。

上段バスケットの設定位置	皿の直径（cm）	
	上段バスケット	下段バスケット
高	15	31
中	17	29
低	19	27

プレートサポートの取り外し方

プレートサポートを取り外して、平鍋などより大きな食器類のスペースを作ることができます。

取外し①

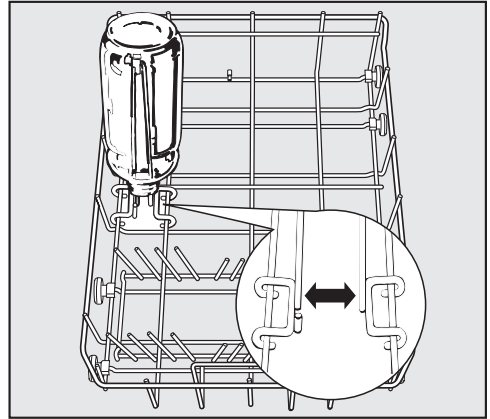
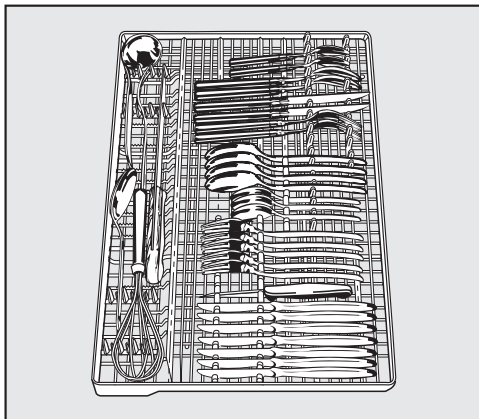
■ プレートサポートを取り外すには、取っ手を引き上げます。

取付け②

■ プレートサポートのフックを下段バスケットの長いほうのワイヤーにかけます。

■ プレートサポートの取っ手をかみ合うまで押し下げます。

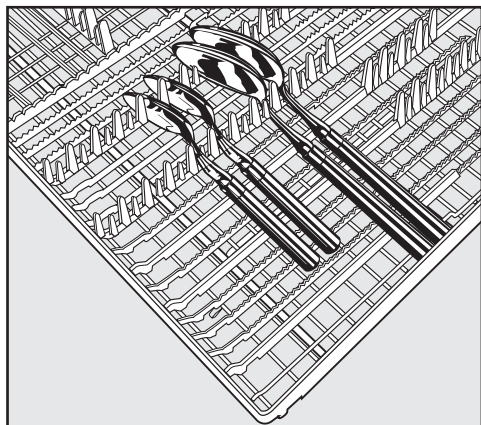
ボトルホルダー（別売品）

ボトルホルダーは牛乳ビンや哺乳ビンなど細長い容器を洗うのに使用します。

■ ボトルホルダーを下段バスケットの図に示された場所にセットします。他の場所にセットすると、ビンの内側までスプレーが届かなくなり、ビンがよく洗えません。

カトラリートレイ

■ 小物類は、図のようにカトラリートレイの中に並べます。

ナイフやフォーク、スプーンを分類して置くと、後で取り出すときに手早くかたづけられます。

スプーンに水が残らないようにするため、スプーンはすくい取る部分をトレイの切り込み部分に置いてください。

高さのある食器（ケーキサーバーなど）が、上部スプレーアームの回転を妨げてはなりません。

スプーンの柄がホルダーの間に収まらない場合は、スプーンを反対にして、柄のほうを切り込みに置くようにします。

洗剤

家庭用の食器洗い機専用の洗剤のみを使用してください。

- 市販の多機能タブレット、粉末洗剤または液体洗剤が使用できます。洗剤のパッケージに記載されている使用量を参照してください。
- 洗剤は、洗剤投入口に入れます。

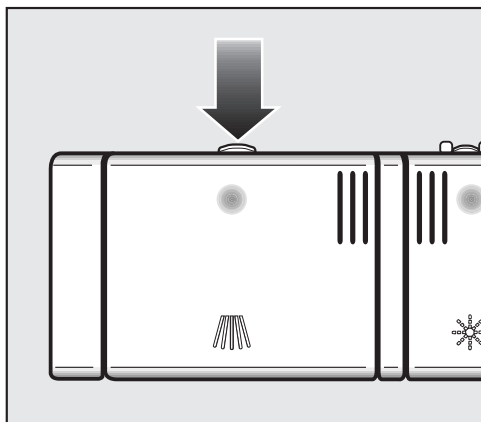
洗剤の量が推奨量より少ない場合は、食器がきれいに洗浄できないことがあります。

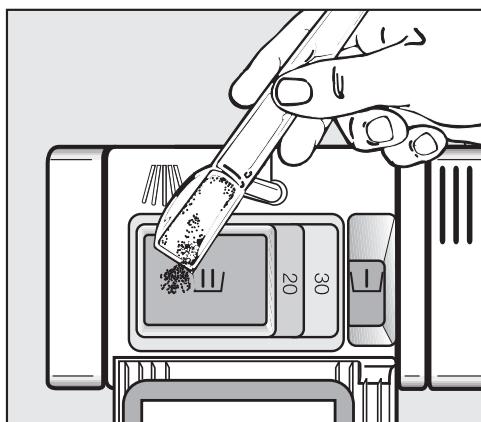
粉末洗剤を吸い込んだり、飲み込んだりしないよう注意してください。洗剤が原因で、鼻や口、喉に炎症が起きる可能性があります。

洗剤を吸い込んだり、飲み込んだりした場合には、すぐに医師に相談してください。

お子様が洗剤に触れないよう注意してください。そのためにも、食器洗い機のドアが開いているときには、お子様を近づけないようにしてください。

庫内にまだ洗剤が残っている可能性があります。洗剤は、プログラムをスタートする直前に投入し、チャイルドロックでドアをロックします。

洗剤を入れる

■ ロックボタンを押します。
容器のフタが開きます。

プログラムが終了した後は、容器のフタが開いています。

■ 洗剤を容器に入れ、フタを閉めます。

■ 洗剤のパッケージを閉めておきます。そうしないと、洗剤が固まってしまうことがあります。

投入量を調べる目盛り

投入容器 I には、最大10 mℓの洗剤が入ります。
投入容器 II には、最大50 mℓの洗剤が入ります。

投入容器IIには、投入量の目安として、20、30というマークがつけられています。これらのマークは、ドアが水平に開いている状態でのおおよその量をmℓで示しています。

スイッチを入れる

■ スプレーアームが無理なく回転するかどうか、確認します。

■ ドアを閉めます。

■ 止水栓が閉まっている場合は、開けます。

■ ⓘボタンで食器洗い機のスイッチを入れます。

「Start/Stop（スタート/ストップ）」の表示ランプが点滅し、最後に設定されたプログラムの表示ランプが点灯します。

プログラムの選択

常に、食器の種類と汚れの程度に応じて、プログラムを選択してください。

プログラムの種類と使い方の目安については、**「プログラム一覧」**の章で説明しています。

プログラム開始

■ Programme（プログラム）ボタンで必要なプログラムを選択します。

選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

■ Start/Stop（スタート/ストップ）ボタンを押します。

プログラムがスタートします。「Start/Stop（スタート/ストップ）」、「Wash / Rinse（洗浄・すすぎ）」の表示ランプおよび選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

プログラムをキャンセルできるのは、最初の数分間だけに限られています。

プログラム進行表示

プログラムがスタートした後、プログラムの進行状況がその都度プログラム進行表示で示されます。

操作

プログラム終了

プログラム進行表示で「End（終了）」の表示ランプが点灯したら、プログラムは終了しています。

食器洗い機を開けて、食器を取り出すことができます。

食器洗い機の上にあるカウンターの端が蒸気によって損傷するのを避けるため、プログラム終了後、ドアを全開にするか（半開きにするのは絶対にいけません）、または食器をかたづけるときまで閉めたままにしてください。

スイッチを切る

プログラムが終了したら、

■ ⓘ ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。

ⓘ ボタンでスイッチを切るまで、食器洗い機は電力を消費し続けます。

旅行などで、食器洗い機を長期間使用しない場合は、安全のため止水栓を閉めておいてください。

食器の取り出し方

食器は熱くなると、壊れやすくなります。

そのため、スイッチを切った後、触っても熱くない温度になるまで、食器洗い機の中で食器を冷まします。

スイッチを切った後、ドアを全開にすると、食器が早く冷めます。

■ 最初に下段バスケット、次に上段バスケット、最後にカトラリートレイ（使用した場合）を片づけます。
この順番で行えば、水滴が上段バスケットやカトラリートレイから下段バスケットに落ちてくるのを防ぎます。

プログラムの中断

ドアを開くと、プログラムは中断されます。
再びドアを閉めると、プログラムは数秒後に中断したところから続行されます。

食器洗い機の水が高温の場合、火傷の危険があります。
そのため、もしドアを開ける場合は、慎重に行ってください。ドアを再び閉める前に、約20秒間ドアを半開きにします。これによって庫内の温度を補正し、気圧の膨張による水漏れなどを防ぐ事ができます。その後で、カチッとかみ合うまで、ドアをしっかりと押してください。

プログラムの変更

洗剤容器のフタがすでに開いている場合は、プログラムの変更を行わないでください。

プログラムがすでに開始されている場合、以下の手順でプログラムを変更することができます。

■ Start/Stop（スタート/ストップ）ボタンを最低1秒間押します。

プログラムが中断されます。「Start/Stop（スタート/ストップ）」表示ランプが点滅します。

■ 必要なプログラムを選択し、開始します。

その他の機能

工場出荷時の初期設定

変更したすべての設定をリセットして、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

■ ① ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。

■ Start/Stop（スタート / ストップ）ボタンを押しながら、**同時に** ① ボタンで食器洗い機のスイッチを入れます。
この時、「Start/Stop（スタート / ストップ）」表示ランプが点灯するまで、Start/Stop（スタート / ストップ）ボタンを少なくとも4秒間押し続けてください。

うまく行かない場合は、最初からもう一度やり直します。

■ Programme（プログラム）ボタンを12回押します。

一番下のプログラム表示ランプが1回長く、2回短く点滅します。

プログラム進行表示ランプ「Wash / Rinse（洗浄・すすぎ）」の点滅によって、工場出荷時の初期設定とは別の設定になっているかどうかが分かります。

– プログラム進行表示ランプ「Wash / Rinse（洗浄・すすぎ）」が点滅：

全ての設定は工場出荷時の設定になっています。

– プログラム進行表示ランプ「Wash / Rinse（洗浄・すすぎ）」が消えている：

設定が少なくとも1つ変更されています。

■ 食器洗い機の設定を工場出荷時設定に戻したい場合は、Start/Stop（スタート / ストップ）ボタンを押します。

■ ① ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。

食器洗い機を定期的（約4～6ヶ月ごと）に点検してください。定期点検によって、問題の発生を防ぐことができます。

本食器洗い機の表面は、不適切に擦ったりぶつけたりすると傷がつく恐れがあります。お手入れの際は、道具や洗剤の成分などに注意してください。

庫内のクリーニング

庫内は、常に正しい量の洗剤が使用されていれば、自然にクリーニングされています。

ただし、カルキまたは油汚れの付着が見られ、高温プログラムの空洗いで改善しない場合は、ミーレ・ジャパンのコールセンターまでご相談ください。

ドアシールおよびドアのクリーニング

- ドアシールは、湿らせた布で定期的に拭き、付着した汚れを取り除きます。
- 食器洗い機のドアの隅に付着した残菜や汚れをきれいに拭き取ってください。この部分は、スプレーの水が届かないため洗浄できません。

食器洗い機正面のクリーニング

付着した汚れはすぐに落としてください。時間がたつと、汚れが落ちにくくなったり、変色する恐れがあります。

本機正面は、濡らしたスポンジや食器用中性洗剤を薄めた液に浸した布などで、やさしく拭いてください。最後は、柔らかく乾いた布で水気を拭き取ってください。

表面を傷つけないために、下記の使用は絶対に避けてください。

- 炭酸、アンモニア、炭酸ソーダや塩素を含む洗剤
- カルキ除去剤
- 研磨剤を含むクレンザー類
- 溶剤を含む洗剤
- ステンレス用洗剤
- 食洗機用洗剤
- ガラス用洗剤
- 研磨作用のあるスポンジ類
- 金属製のスクレイパー

クリーニングとお手入れ

操作パネルのクリーニング

研磨剤、ガラスクリーナーまたは多目的クリーナーは使用しないでください。これらの成分によって、表面が激しく損傷する場合があります。

プラスチック製パネル

■ プラスチック製操作パネルをクリーニングする時は、濡れた布または市販のプラスチック製品専用クリーナーのみを使用してください。

ステンレス製パネル

■ 濡れた布と台所用中性洗剤を使用するか、または研磨剤の入っていないステンレス専用クリーナーを使用してクリーニングします。

■ その後で、ステンレス専用コンディショナーを使用すると、汚れ（指紋など）が付着しにくくなります。

アルミニウム製パネル

■ 濡れた布と台所用中性洗剤を使用してクリーニングします。

アルミニウムは、変化のある素材です。見る角度、光の当たり方、周辺の状況によって、反射効果が変化し、機器の見た目にも影響します。

ステンレスやアルミニウム製の表面や操作パネルは、汚れが長いあいだついたままになっていると、変色または変化する場合があります。
そのため、汚れはすぐに取り除いてください。
機器正面や操作パネルは、傷がつきやすいのでご注意ください。

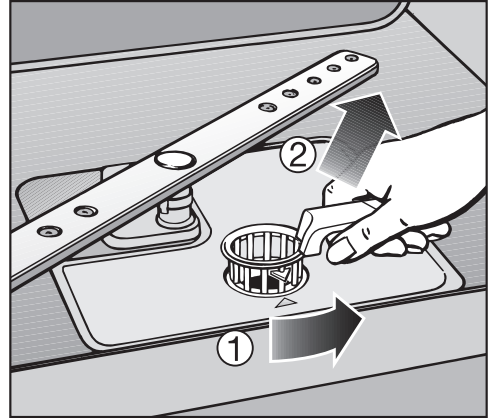
トリプルフィルターのクリーニング

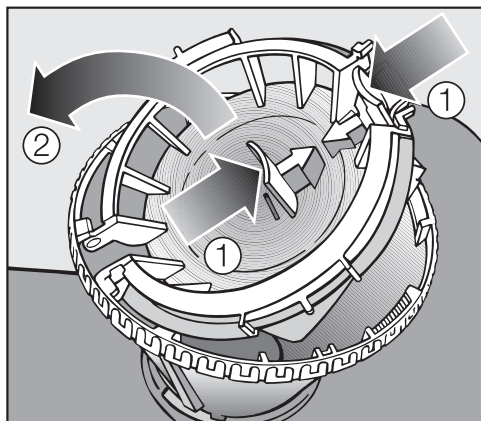
庫内の底にあるフィルターは、洗浄水に含まれる大きなゴミやカスをろ過します。したがって、これらのゴミやカスは循環システムに入り込めないので、スプレーアームを介して、再び庫内に戻されるようなことはありません。

フィルターを取り付けないで、食器洗い機を運転しないでください。

フィルターは、時間が経つとゴミやカスが溜まり、詰まることがあります。ゴミやカスが溜まるまでの時間は、使い方によって異なります。

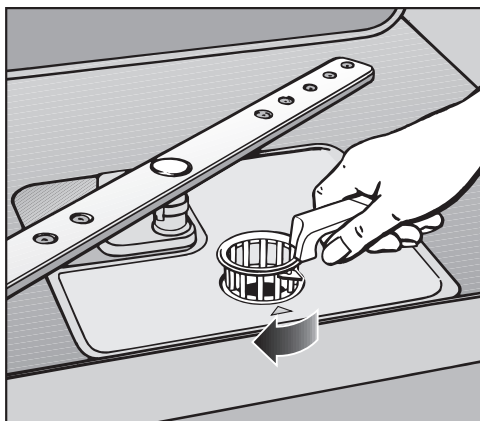
定期的にフィルターの状態をチェックして、必要な場合はフィルターを掃除してください。

■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

■ ハンドルを後ろへ回して、フィルターのロックを外します①。

■ フィルターを取り出し②、ゴミやカスを取り除き、フィルターを水でよく洗い流します。
必要があれば、洗浄ブラシを使用してください。

フィルターの内側を掃除するには、カバーを開く必要があります。

■ 両方のつめを同時に矢印の方向に押し①、フィルターのカバーを開けます②。

■ 流水ですべての部品を洗います。

■ ロックにかみ合わせて、カバーを閉じます。

■ 庫内の底に水平になるように、フィルターをはめ込みます。

■ 矢印の先が重なるまで、ハンドルを後ろから前へ回して、フィルターをロックします。

フィルターは、所定の位置に正しく固定されていなければなりません。
そうしないと、大きなゴミやカスが循環システムに入り、詰まってしまう場合があります。

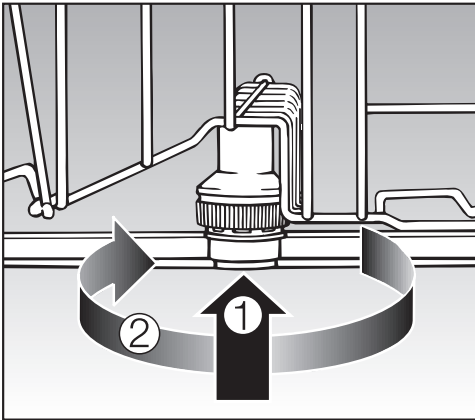
スプレーアームのクリーニング

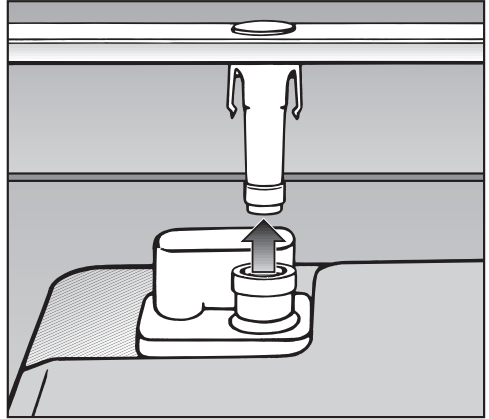
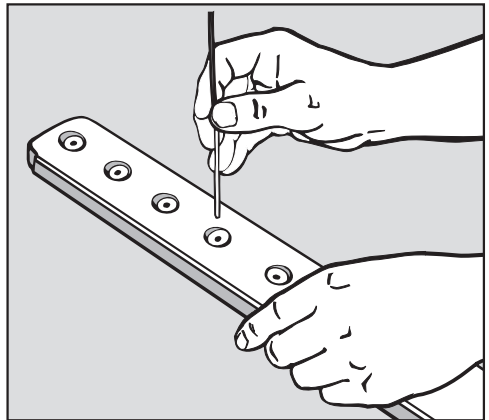
スプレーアームのノズルや軸受けに食べ物のカスがつまることがあります。
そのため、定期的（約4～6ヵ月ごと）にスプレーアームを点検してください。

■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

以下の手順で、スプレーアームを取り外します。

■ カトラリートレイがある場合は、これを引き出します。

■ **上部**スプレーアームを押し上げ、内側の歯にかみ合わせ、スプレーアームを回して外します。

■ **中段**スプレーアームを押し付け①、歯にかみ合わせて、スプレーアームを回して外します②。

■ 下段バスケットを引き出します。

■ **下段**スプレーアームを強く上に引き出します。

■ 先のとがったものでノズルにつまっている食べ物のカスをスプレーアームの中に押し入れます。

■ スプレーアームを水でよく洗い流します。

■ スプレーアームを元に戻し、問題なく回転するかどうか点検します。

故障かな?と思ったら

毎日の使用で生じるトラブルの多くは、お客様自身で解決することができます。アフターサービスをご利用頂く前に各項目をご確認ください。

以下の一覧表はトラブルやエラーの原因を見つけ出し、解決する上での手助けとなりますが、次の注意は必ずお守りください。

電気機器の修理は、資格のある技術者にのみお任せください。不適切な修理が原因で、お客様に重大な危険が及ぶ可能性があります。

食器洗い機でのトラブル		
問題	**原因**	**解決方法**
ⓘ ボタンで食器洗い機のスイッチを入れても、「Start / Stop(スタート / ストップ)」表示ランプが点滅しない	プラグが差し込まれていません。	プラグを差し込みます。
	ブレーカーが上がっています。	ブレーカーを作動させます(最低ヒューズ容量は型式表示シールをご参照ください)。
食器洗い機が停止して、動かない。	ブレーカーが上がっています。	ブレーカーを作動させます(最低ヒューズ容量は型式表示シールをご参照ください)。

問題	原因	解決方法
プログラム進行表示「Wash / Rinse（洗浄・すすぎ）」、「Drying（乾燥）」、「End（終了）」のランプが同時に点滅する。	技術的な障害が生じている場合があります。	① ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。 数秒後、 －食器洗い機のスイッチを入れます。 －Programme（プログラム）ボタンで必要なプログラムを選びます。 －Start/Stop（スタート/ストップ）ボタンを押します。再び表示ランプが点滅する場合は、技術的障害が生じています。 －ミーレのコールセンターにご連絡ください。
ドアが開いていても、場合によってさらに排水ポンプが作動する。	防水システムが反応しました。	－止水栓を閉めます。 －ミーレのコールセンターにご連絡ください。

給水 / 排水でのトラブル

問題	原因	解決方法
「Inlet/Outlet(給水 / 排水)」の表示ランプが交互に点滅 / 点灯する。	止水栓が閉まっています。	ー止水栓を完全に開けます。
食器洗い機が停止して、動かない。 機能表示ランプが速く点滅する。 ブザーが鳴る。 ドアを開けると、 「Inlet/Outlet(給水 / 排水)」の表示ランプが点滅する。		問題の解決に取りかかる前に、 ー ⏀ ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。
	給水エラー。	ー 止水栓を完全に開きます。 ー 給水フィルターを掃除します(「故障かな?と思ったら」の章をご参照ください)。 ー 給水圧が1 barより低くなっています。配管業者にご相談ください。
	排水エラー。 場合によっては、庫内に水が残っています。	ー フィルターを掃除します(「クリーニングとお手入れ」の章をご参照ください)。 ー 排水ポンプを掃除します(「故障かな?と思ったら」の章をご参照ください)。 ー 逆止弁を掃除します(「故障かな?と思ったら」をご参照ください)。 ー 排水ホースが折れ曲がっていたり、縦に立っていたりする場合は、直します。

食器洗い機での一般的な問題		
問題	**原因**	**解決方法**
洗剤容器の中が、洗剤の残りでベタベタしている。	洗剤を入れる際に、洗剤容器に水分が残っていました。	容器を乾かしてから、洗剤を入れてください。
洗剤容器のフタが閉まらない。	洗剤の残りが付着して、ロックされなくなっています。	洗剤の残りを取り除きます。
プログラムが終了した後、ドアの内側や場合によっては内部の壁に水蒸気の薄い膜がある。	故障ではありません。 乾燥システムの正常な状態です。	特にありません。 水分は、すぐに蒸発します。
プログラムが終了しても、庫内に水が残っている。		問題の解決に取りかかる前に、 ー ⏻ ボタンで食器洗い機のスイッチを切ります。
	庫内のフィルターが詰まっています。	フィルターを掃除します（「クリーニングとお手入れ」の章をご参照ください）。
	排水ポンプまたは逆止弁が詰まっています。	排水ポンプまたは逆止弁を掃除します（「故障かな?と思ったら」の章をご参照ください）。
	排水ホースが折れ曲がっています。	排水ホースの折れ曲がりを直します。

騒音		
問題	**原因**	**解決方法**
庫内で、何か当たる音がする。	スプレーアームが食器に当たっています。	プログラムを中断し、スプレーアームのじゃまになっている食器を入れ直します。
庫内でガタガタと音がする。	食器類が庫内でぐらついています。	プログラムを中断し、食器がぐらつかないように入れ直します。

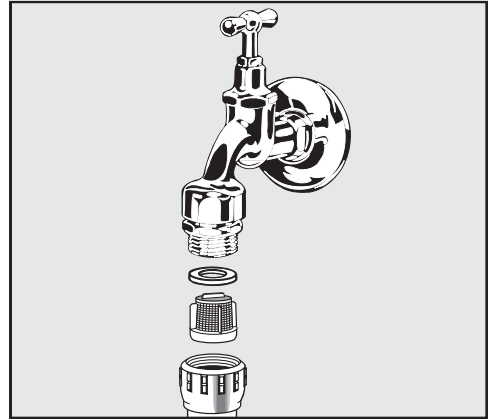
洗い上がりに問題がある		
問題	**原因**	**解決方法**
食器がきれいにならない。	食器が正しく並べられていませんでした。	「食器の入れ方」の章にある注意事項をご参照ください。
	洗浄力の弱いプログラムになっていました。	洗浄力の強いプログラムを選びます(「プログラム一覧」の章をご参照ください)。
	汚れの量は多くありませんが、落ちにくい汚れです(茶渋など)。	その他の機能「センサーウォッシュ」を使用します(「その他の機能」の章をご参照ください)。
	洗剤の量が足りませんでした。	洗剤の量を増やすか、場合によっては洗剤を別の製品に変えます。
	庫内のフィルターがきれいになっていないか、正しくセットされていません。 その結果、スプレーアームのノズルも詰まっている可能性があります。	フィルターを掃除するか正しくセットし直します。 場合によっては、スプレーアームのノズルを掃除します(「クリーニングとお手入れ」の章をご参照ください)。
	逆止弁が開かれたまま、動かなくなっています。 汚れた水が庫内に逆流しています。	排水ポンプと逆止弁を掃除します(「故障かな?と思ったら」の章をご参照ください)。
ガラス食器や小物類に縞模様が残り、ガラス食器の表面が青味を帯びて光っている。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上げ剤の設定量が多すぎます。	投入量を減らします(「乾燥仕上げ剤」の章をご参照ください)。

故障かな?と思ったら

問題	原因	解決方法
食器が乾かない、またはガラス食器や小物類に水滴の跡が残る。	乾燥仕上げ剤の量が少なすぎるか、乾燥仕上げ剤のタンクが空になっています。	乾燥仕上げ剤を補充し、投入量を増やすか、次回補充する場合に、乾燥仕上げ剤を別の製品に変えます（「初めてお使いになる前に」の章をご参照ください）。
	食器を取り出すのが早すぎました。	もう少し後になってから食器を取り出します（「操作」の章をご参照ください）。
食器に白い膜が残る。ガラス食器や小物類に曇りがでる。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上げ剤の量が少なすぎます。	投入量を増やします（「初めてご使用になる前に」の章をご参照ください）。
ガラス食器が茶色または青色に変色する。膜を拭き取ることができない。	洗剤の化合物が付着しています。	すぐに洗剤を別の製品に変えます。
ガラス食器が不透明になり、変色する。膜を拭き取ることができない。	そのガラス食器は、食器洗い機に対応していません。 表面が変質しています。	特にありません。 食器洗い機対応のガラス食器を購入してください。
茶渋または口紅が完全に落ちない。	選択したプログラムの洗浄温度が低すぎました。	洗浄温度の高いプログラムを選びます。
	使用した洗剤の漂白効果が低すぎます。	洗剤を別の製品に変えます。
プラスチック製品が変色する。	人参、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素が原因の場合があります。洗剤の量または洗剤の漂白効果が天然色素には不十分でした。	洗剤の量を増やします（「操作」の章をご参照ください）。すでに変色した部分を、元の色に戻すことはできません。

給水フィルターのクリーニング

給水バルブを保護するために、ねじ継ぎ手にはフィルターが取り付けられています。
フィルターが汚れていると、庫内に水が十分流れなくなります。

給水ホースの先端には電磁弁の入ったプラスチックケースが取り付けられています。水がかからない様に注意してください。

フィルターのクリーニング

■ 食器洗い機の電源を切ります。
食器洗い機のスイッチを切り、電源プラグを引き抜きます。

■ 止水栓を閉めます。

■ 給水バルブを外します。

■ バルブとホースの接続部から、シールパッキンを外します。

■ 先の尖ったラジペン等を使って、フィルターを引き出し、フィルターを洗います。

■ フィルターとシールを元に戻します。この時、正常に取り付けられているか注意します。

■ 給水バルブを止水栓に取り付けます。その際、ネジが斜めに入っていないことを確認します。

■ 止水栓を開けます。
水が漏れている場合は、ネジが十分に締まっていないか、ネジが斜めに締まっています。
給水バルブをまっすぐに当て、しっかりと締めます。

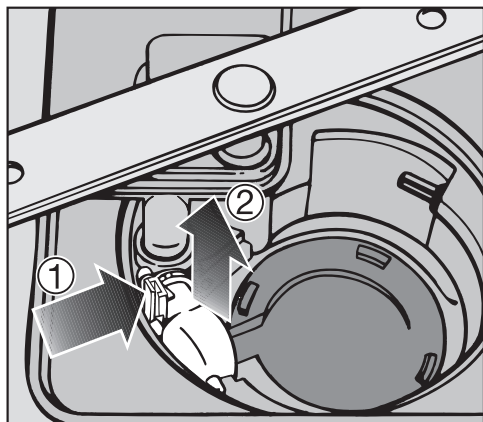
詰まりの除去

排水ポンプと逆止弁のクリーニング

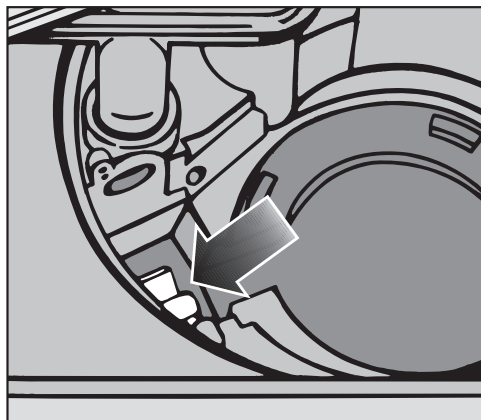
プログラムが終わっても、庫内の水が抜けない場合は、水が排水されなかったということになります。
排水ポンプと逆止弁が詰まっている場合があります。これは、簡単に取り除くことができます。

■ 食器洗い機を電源から切り離します。そのためには、食器洗い機のスイッチを切り、その後で電源プラグを引き抜きます。

■ 庫内からフィルターを取り外します（「クリーニングとお手入れ」の章、「トリプルフィルターのクリーニング」をご参照ください）。

■ 小さな容器を使って、庫内に残っている水を汲み出します。

■ 逆止弁のロックを内側へ押します①。

■ 逆止弁を上方へ取り外し②、流水できれいに洗います。

■ 逆止弁に付着しているすべての異物を取り除きます。

排水ポンプは逆止弁の下に取り付けられています（矢印）。

■ 排水ポンプからすべての異物を取り除きます（ガラスの破片は、とくに見えにくいのでご注意ください）。確認のため、排水ポンプの羽根を手で回します。その際、羽根を回すのに抵抗を感じます。

■ 逆止弁を慎重に元に戻します。

ロックは、必ずかみ合わせなければなりません。

修理

本取扱説明書にある方法でも解決できない問題が生じた場合には、以下へご連絡ください。

– ミーレ取扱店、または

– ミーレのコールセンター

ミーレ・ジャパン　コールセンター
通話料無料 **0120-310-229（月–金 9:00～17:30）**

■ コールセンターへお問い合わせの際は、食器洗い機のモデルと製造番号が必要です。

これらの表示は、ドアを開けた右側の型式表示シールに記載されています。

プログラムの更新（アップデート）

プログラムの更新（PC=プログラム・コレクション）によって、将来、お使いの食器洗い機のエレクトロニクスに最新の洗浄技術をインプットすることができます。

「PC」表示ランプは、プログラム更新のための伝達ポイントとしてアフターサービスが用います。

今後の開発の結果、プログラムの変更が必要になった場合、プログラムの更新を行うことができます。
ミーレは、プログラムの更新を適切な時期にお知らせいたします。

プログラム一覧

プログラム	使い方の目安
Sensor wash 55～65℃ （センサーウォッシュ 55～65℃）	センサー制御プログラム。 日常の使用で生じる**普通の汚れ**。
Quick wash 40℃ （クイックウォッシュ 40℃）	パーティ用食器などの**軽い汚れ**の食器を洗うときの「クイックプログラム」。 低温プログラムのためグラス洗いにも適している。
Light Soiling 50℃ （ライトソイリング 50℃）	所要時間を短縮したプログラム。 食べ物の残りがこびりついていない、**軽い汚れから普通の汚れ**の食器。 グラス洗いにも適している。
Energy Save （エネルギーセーブ）[1]	食べ物の残りがこびりついていない**普通の汚れ**の食器。 低温水を使用し、実行時間の長い、とくにエネルギーを節約するプログラム。 グラス洗いにも適している。
Pots & pans 75℃ （ポット&パン 75℃）	汚れのひどい食器および**普通の汚れの鍋やフライパン、** 食べ物が乾いてこびりついた**調理用食器。** 洗剤量は 120 % をお勧めします。
Pre-wash （予備洗い）	他の洗浄プログラムを運転するまで時間がある場合や、さっと流しておきたい時に便利なプログラム。

1）エネルギーラベルに対応する標準プログラム

プログラム一覧

プログラムの流れ						消費			所要時間	
						電力		水		
予備洗い	本洗い ℃	すすぎ		仕上げすすぎ ℃	乾燥	水道水との接続（15℃）kWh	給湯との接続（55℃）kWh	リットル	水道水との接続（15℃）時：分	給湯との接続（55℃）時：分
		1	2							
必要に応じて	55-65	必要に応じて		70		0.85-1.40	0.55-0.80	13-21	2:00-2:55	1:45-2:35
	40			45		0.55	0.25	13	0:38	0:32
	50			70		1.00	0.75	13	1:40	1:30
	45			60		0.90	0.60	13	2:59	2:49
	75			70		1.40	0.90	17	2:47	2:35
						0.02	0.02	5	0:13	0:13

表示されている所要時間は、お客様のご使用条件に応じて変化します。

記載された数値は、EN 50242※ に従って調査されたものです。実際には、個々の状況または汚れの程度によって、明らかな差異が生じることがあります。

※ EN 50242：CENELEC（欧州電機標準化委員会）家庭用食器洗い機の能力試験基準

電気の接続

この食器洗い機は、アースコンタクト付きコンセントにプラグを接続する仕様になっています。

食器洗い機を設置した後でも、簡単に手が届くところにコンセントがなければなりません。
安全上の理由から、延長コードは使用しないでください（過熱による火災の危険等があります）。

電源コードやコンセントに損傷が見られる場合は、お求め頂いた販売店またはコールセンターまでご連絡ください。

ご家庭にある電源の電圧、周波数およびブレーカーの詳細が型式表示シールの表示と一致していること、また、設置されているコンセントが食器洗い機のプラグのシステムと一致していることを確認してください。

技術データは、ドアの右側の型式表示シールに記載されています。

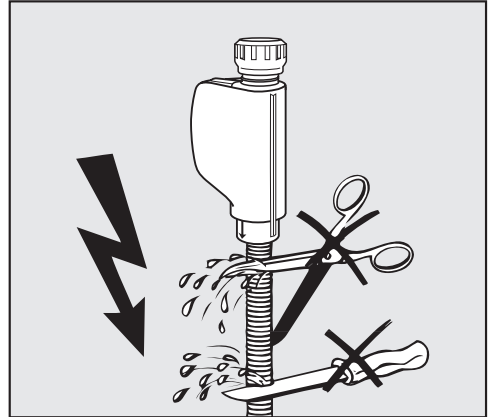
給水

ウォータープルーフ・システム

機器の接続が適切に行われていれば、万が一水漏れが起きた場合も、ミーレのウォータープルーフ・システムによって周辺設備へのダメージを防ぐことができます。

食器洗い機内の水は、飲んではいけません。

- 食器洗い機は、水道または60°C以下の給湯に接続できます。すべてのプログラムで、お湯を使って洗浄が行われます。
- 水圧（接続部での流れの圧力）は、100～1000 kPa（1～10 bar）の間でなければなりません。
  水圧が高すぎる場合は、減圧弁を取り付ける必要があります。

機器の損傷を防ぐため、完全にエア抜きされた配管にのみ食器洗い機を接続してください。

給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられています。そのため、給水ホースを短くしたり、傷つけたりしないようにご注意ください。

水の接続

排水

– 本機の排水システムには、逆止弁が取り付けられており、汚れた水が排水ホースを介して庫内に流れ込まないようになっています。

– 機器には、長さ約1.5mのフレキシブル排水ホースが装備されています（内径：22mm）。

– 排水ホースは、接続部品と別のホースを使って延長することができます。
排水ラインの長さは最高 4 mまで、ポンプのヘッドが1mを超えないようにしてください。

– ホースは、右にも左にも取り出すことができます。

– 排水管に排水ホースを差し込みすぎないでください。

– 排水ホースを短くしてはいけません。

排水ホースがねじれていたり、押しつぶされていたり、引っ張られたりしていないか確認してください。

高さ	80.5 cm（+6.5cm調整可能）
組込場所の高さ	最低80.5cm（+6.5cm）
幅	44.8cm
組込場所の幅	45cm
奥行き	57cm
重量	最大50kg
電圧	200V
接続負荷	2000W
ヒューズ	10 A
水圧（流量）	100-1000kPa （1-10bar）
給湯との接続	60℃以下
排水ポンプのヘッド	最大1m
排水ポンプの能力長	最大4m
接続コード	約1.7m
最大収容量	食器8人分（IEC規格/JEMA規格）

☆1人分の食器点数と基本食器類は、基本4点（大皿、茶碗、汁碗、湯のみ又はコップの各1点）+2点（中皿、小鉢）とする。

※ 上記は（社）日本電機工業会、「新工業会基準」HD-032（電気食器洗い機用食器について）に準ずる。

* IEC：国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission）

愛情点検

長年ご使用の自動食器洗い機の点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●電源コードやプラグが異常に熱い、キズがある。
●運転が時々止まる。
●本体に触れると電気を感じる。
●焦げ臭いニオイがする。
●運転中に異常音や振動がある。
●水漏れがする。
●その他の異常や故障がある。

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター 0120-310-229（ユーザー専用・月ー金 9:00-17:30）
〒150-0044 東京都渋谷区円山町 3-6 E・スペースタワー 11F（本社）1F（ショールーム）

www.miele.co.jp

M.-No. 07 502 980